

編 修 趣 意 書

（教育基本法との対照表）

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-42	高等学校	国語科	国語表現	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
183 第一	国表 308	高等学校 改訂版 国語表現		

1．編修の基本方針														
<p>教育基本法第2条ならびに高等学校学習指導要領に示された目標を達成し，学習内容の十分な実現達成をはかり得る，基礎的な教科書として編修した。</p> <p>1．すぐれた文章に触れることによって，言語文化の伝統を理解し，豊かな感性や情緒を育むことができるようにした。</p> <p>2．生徒が自主的・主体的に学習活動を行うことにより，思考力・判断力を養い，自発的・創造的な人間形成に進むことができるよう考慮した。</p> <p>3．問題意識をもって取り組むことのできる教材を意識的に採録して，様々な社会的要請に応え得る人間性の育成に役立てられるようにした。</p> <p>4．すべての学習の根幹といえる言語の教育としての国語科の立場を重視し，必要な言語力を身につけさせるとともに，言語文化の理解と享受を通して，我が国の言語文化に親しむことができるように配慮した。</p>														
2．対照表														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">図書構成・内容</th> <th style="width: 50%;">特に意を用いた点や特色</th> <th style="width: 30%;">該当箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">表現の楽しみ</td> <td style="padding: 5px;">創作を行う学習を設定し，具体的な学習テーマと事例を示すことで，生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるよう配慮した。課題の内容についても，生徒の自由な創造性を伸ばすことを目的としたものを多く取り入れた（第2号）。</td> <td style="padding: 5px;">p.見返 ～ 口絵</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">表現の基礎</td> <td style="padding: 5px;"> <p>真理を探究する人間のさまざまなありようを示すことによって，生徒の人間性・社会性の涵養に働きかけられる題材を採録した（第1号）。</p> <p>現代社会を取り巻く諸問題のひとつであるコミュニケーションに関わる題材を採録し，生徒が自らの問題として考えを深めることができるよう配慮した（第3号）。</p> <p>「文章の書き方」「わかりやすい表現」「表現の工夫」等を置き，表現活動に必要な知識を身に付けるとともに，言語を中心とする我が国の伝統的な文化について，興味・関心を喚起できるようにした（第5号）。</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p>p.6～11</p> <p>p.30～33，p.34～36</p> <p>p.12～17，p.18～21， p.22～25，p.26～29</p> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">表現の実践（一）</td> <td style="padding: 5px;"> <p>真理を探究する人間のさまざまなありようを示すことによって，生徒の人間性・社会性の涵養に働きかけられる題材を採録した（第1号）。</p> <p>手紙文や紹介文・宣伝文を書く学習を設定し，具体的な学習テーマと事例を示すことで，生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるよう配慮した（第2号）。</p> <p>「実践課題」を設定し，具体的な学習テーマと事例を示すことで，生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるようにした（第2号）。</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p>p.38～41，p.48～51</p> <p>p.42～46，p.52～55</p> <p>p.56～58</p> </td> </tr> </tbody> </table>	図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	表現の楽しみ	創作を行う学習を設定し，具体的な学習テーマと事例を示すことで，生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるよう配慮した。課題の内容についても，生徒の自由な創造性を伸ばすことを目的としたものを多く取り入れた（第2号）。	p.見返 ～ 口絵	表現の基礎	<p>真理を探究する人間のさまざまなありようを示すことによって，生徒の人間性・社会性の涵養に働きかけられる題材を採録した（第1号）。</p> <p>現代社会を取り巻く諸問題のひとつであるコミュニケーションに関わる題材を採録し，生徒が自らの問題として考えを深めることができるよう配慮した（第3号）。</p> <p>「文章の書き方」「わかりやすい表現」「表現の工夫」等を置き，表現活動に必要な知識を身に付けるとともに，言語を中心とする我が国の伝統的な文化について，興味・関心を喚起できるようにした（第5号）。</p>	<p>p.6～11</p> <p>p.30～33，p.34～36</p> <p>p.12～17，p.18～21， p.22～25，p.26～29</p>	表現の実践（一）	<p>真理を探究する人間のさまざまなありようを示すことによって，生徒の人間性・社会性の涵養に働きかけられる題材を採録した（第1号）。</p> <p>手紙文や紹介文・宣伝文を書く学習を設定し，具体的な学習テーマと事例を示すことで，生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるよう配慮した（第2号）。</p> <p>「実践課題」を設定し，具体的な学習テーマと事例を示すことで，生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるようにした（第2号）。</p>	<p>p.38～41，p.48～51</p> <p>p.42～46，p.52～55</p> <p>p.56～58</p>		
図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所												
表現の楽しみ	創作を行う学習を設定し，具体的な学習テーマと事例を示すことで，生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるよう配慮した。課題の内容についても，生徒の自由な創造性を伸ばすことを目的としたものを多く取り入れた（第2号）。	p.見返 ～ 口絵												
表現の基礎	<p>真理を探究する人間のさまざまなありようを示すことによって，生徒の人間性・社会性の涵養に働きかけられる題材を採録した（第1号）。</p> <p>現代社会を取り巻く諸問題のひとつであるコミュニケーションに関わる題材を採録し，生徒が自らの問題として考えを深めることができるよう配慮した（第3号）。</p> <p>「文章の書き方」「わかりやすい表現」「表現の工夫」等を置き，表現活動に必要な知識を身に付けるとともに，言語を中心とする我が国の伝統的な文化について，興味・関心を喚起できるようにした（第5号）。</p>	<p>p.6～11</p> <p>p.30～33，p.34～36</p> <p>p.12～17，p.18～21， p.22～25，p.26～29</p>												
表現の実践（一）	<p>真理を探究する人間のさまざまなありようを示すことによって，生徒の人間性・社会性の涵養に働きかけられる題材を採録した（第1号）。</p> <p>手紙文や紹介文・宣伝文を書く学習を設定し，具体的な学習テーマと事例を示すことで，生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるよう配慮した（第2号）。</p> <p>「実践課題」を設定し，具体的な学習テーマと事例を示すことで，生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるようにした（第2号）。</p>	<p>p.38～41，p.48～51</p> <p>p.42～46，p.52～55</p> <p>p.56～58</p>												

表現の実践（二）	<p>記録文・レポートを書く学習を設定し、具体的な学習テーマと事例を示すことで、生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるよう配慮した（第2号）。</p> <p>「実践課題」を設定し、具体的な学習テーマと事例を示すことで、生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるようにした（第2号）。</p> <p>自然・環境など、現実の諸問題に深く関わる題材を採録し、生命を尊ぶ態度を養うとともに、生徒が自らの問題として考えを深めることができるよう配慮した（第4号）。</p>	<p>p.60～61, p.64～67</p> <p>p.68～70</p> <p>p.62～63</p>
表現の実践（三）	<p>意見発表・話し合いをする学習を設定し、具体的な学習テーマと事例を示すことで、生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるよう配慮した（第2号）。</p> <p>「実践課題」を設定し、具体的な学習テーマと事例を示すことで、生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるようにした（第2号）。</p> <p>現代社会を取り巻く諸問題のひとつである福祉に関わる題材を採録し、生徒が自らの問題として考えを深めることができるよう配慮した（第3号）。</p>	<p>p.72～77, p.78～82, p.84～89</p> <p>p.90～92</p> <p>p.76～77</p>
表現の実践（四）	<p>課題作文・小論文を書く学習を設定し、具体的な学習テーマと事例を示すことで、生徒が主体性を発揮して課題に取り組めるよう配慮した（第2号）。</p>	<p>p.94～101, p.102～121</p>
表現の探求	<p>真理を探求する人間のさまざまなありようを示すことによって、生徒の人間性・社会性の涵養に働きかけられる題材を採録した（第1号）。</p> <p>英語との比較をふまえて日本語の特徴を解説し、他国の言語文化への興味・関心を喚起できるようにした（第5号）。</p> <p>我が国の伝統的な言語文化を解説し、興味・関心を喚起できる題材を採録した（第5号）。</p>	<p>p.154～159, p.160～166, p.167～176</p> <p>p.124～129</p> <p>p.130～133, p.134～137, p.138～145, p.146～148, p.149～153</p>
付録等	<p>見返しとして「図書館の利用」を用意し、図書館の利用方法を示すことによって、生徒が主体性を発揮して表現活動に取り組めるよう配慮した（第2号）。</p> <p>付録として「原稿用紙の使い方」「現代仮名遣いの要領」「符号の付け方」等を置き、表現活動に必要な知識を身に付けるとともに、言語を中心とする我が国の伝統的な文化について、興味・関心を喚起できるようにした（第5号）。</p>	<p>見返し ～</p> <p>p.178～184</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第51条1号「国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと」、また、第3号「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」等の規定を踏まえ、各編の各教材の最後に「学習」として課題を用意し、発表や話し合いを含む多様な学習活動を設定した。教材の主題に対する理解を深め、自らの考えを的確に表現する能力を養うとともに、生徒相互の意見交流を通じて、多角的で客観性のある批判的思考能力を養えるよう配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-42	高等学校	国語科	国語表現	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
183 第一	国表 308	高等学校 改訂版 国語表現		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1. 学習指導要領の総則に示す教育の方針や教科としての「国語表現」の目標を達成するために、次のような配慮をし、ふさわしい教材を用意した。

- (1) 単元構成、教材選定などにおいては、教育現場の意見・要望を尊重し、学習指導の実態に即応できるように考慮した。国語総合との関連も配慮し、基礎的・基本的な事項及び実践的な事項を精選した。
- (2) 生徒が自主的・主体的に学習活動を行うことにより、言語文化の理解・享受を通して、自発的・創造的な人間形成に進むことができるよう考慮した。

2. 「2 内容」について、次のような配慮をし、ふさわしい教材を用意した。

- (1) 各指導事項に関しては、主として「言語活動例」に即した言語活動を用意し、表現力を養い、互いに伝え合う力を高めることができるよう工夫した。
- (2) 「言語活動例」については、本文教材の学習と有機的に関連させながら行うことができるように配慮したほか、主として「実践課題」を通してまとまった学習ができるよう工夫した。

ア 様々な考え方ができる事柄について、幅広い情報を基に自分の考えをまとめ、発表したり討論したりすること。

「考えを発表する」(p.72), 「話し合いをする」(p.78), 「ディベートをする」(p.84)

イ 詩歌をつくったり小説などを書いたり、鑑賞したことをまとめたりすること。

「写真からストーリーを創る」(見返), 「写真に五七五を付ける」(見返), 「誕生月の詩を選ぶ」(口絵)

ウ 関心をもった事柄について調査したことを整理して、解説や論文などにまとめること。

「記録文を書く」(p.60), 「レポートを書く」(p.64), 「課題作文を書く」(p.94), 「小論文を書く」(p.102)

エ 相手や目的に応じて、紹介、連絡、依頼などのための話をしたり文章を書いたりすること。

「手紙を書く」(p.42), 「紹介文・宣伝文を書く」(p.52)

オ 話題や題材などについて調べてまとめたことや考えたことを伝えるための資料を、図表や画像なども用いて編集すること。

「パンフレットを作る」(p.56), 「資料を編集する」(p.68), 「詩のカレンダーを作る」(p.90)

- (3) 「内容」のウに掲げられた描写指導への対応を実現するため、「描写の方法」(p.26)を用意した。

3. 「内容」の力及び「内容の取扱い」(3)に掲げられた、言語文化及び国語の特質の指導への対応を実現するため、単元「表現の探究」を設定した。「日本語の理解」「表現の研究」の二部で構成し、日本語の特色及び表現への理解を深めることができるようにした。

2. 対照表

学習指導要領の内容 図書の構成・内容 該当箇所・ページ		指導事項						言語活動例				配当時数	
		ア 深めたりすること。	イ 性を判断しながら話し合うこと。	ウ 主張や感動などが効果的に伝わるように、論理の構成や描写の仕方などを工夫して書くこと。	エ 目的や場に応じて、言葉遣いや文体など表現を工夫して効果的に話したり書いたりすること。	カ 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などについて理解を深めること。	ア 様々な考え方ができる事柄について、幅広い情報を基に自分の考えをまとめ、発表したり討論したりすること。	イ 詩歌をつくりたり小説などを書いたり、鑑賞したことをまとめたりすること。	ウ 関心をもった事柄について調査したことを整理して、解説や論文などにまとめること。	エ 相手や目的に応じて、紹介、連絡、依頼などのための話をしたり文章を書いたりすること。	オ 話題や題材などについて調べてまとめたことや考えたことを伝えるための資料を、図表や画像なども用いて編集すること。		
写真からストーリーを創る	見返①・②				○	○			○				
写真に五七五を付ける	見返③・口絵④				○	○			○				
誕生月の詩を選ぶ	口絵⑤				○				○				
文章を書く意味	6～11	○					○	○					
文章の書き方	12～17	○		○	○	○	○	○		○	○		
わかりやすい表現	18～21				○					○			
表現の工夫	22～25	○			○	○	○	○					
描写の方法	26～29			○	○		○	○		○	○		
「言葉にすることから始めよう	30～33	○						○		○			
相手理解は聞くことから	34～36		○					○		○			
メールか手紙か	38～41							○					
手紙を書く	42～46	○			○	○	○				○		
参考 手紙の形式	47				○		○				○		
想像の旅	48～51								○	○	○		
紹介文・宣伝文を書く	52～55	○			○			○			○	○	
実践課題① パンフレットを作る	56～58	○			○	○				○	○	○	
記録文を書く	60～63	○			○	○		○		○	○		
レポートを書く	64～67	○			○			○		○	○		
実践課題② 資料を編集する	68～70	○											○
考えを発表する	72～77		○		○			○					
話し合いをする	78～82		○		○			○					
参考 話し合いの形式	83		○		○			○					
ディベートをする	84～89		○		○			○					
実践課題③ 詩のカレンダーを作る	90～92							○					○
課題作文を書く	94～101				○	○				○			
小論文を書く	102～121		○		○	○				○			
参考 要約のしかた	122									○			
日本語の特徴	124～129					○	○	○					
方言と共通語	130～133						○	○					
敬語の分類	134～137						○	○					
ニュアンスを変える助詞	138～145						○	○					
日本語のレトリック	146～148						○	○		○			
古語雑談―「やさし」の語史	149～153					○		○					
時間の見方を変えるとき	154～159		○			○		○					
皐月	160～166					○		○			○		
コップの中の論戦	167～176					○		○			○		
												計	